



MONTHLY REPORTS 2026.6



ホームタウンである相模原市、座間市、綾瀬市、海老名市、愛川町の社会課題の解決を行政や企業、ファンや地域住民の協力を得ながら、中長期的かつサステナブルに向き合う取組みとして「ジモアイプロジェクト」を始動させました。プロジェクトの重点領域は、＜こども／教育＞・＜ウェルビーイング＞・＜環境保全＞の3つで、この領域での新たな社会連携活動を志向しています。



こども・教育
子育て支援プログラム
with OHARA

ジモアイトップパートナーである株式会社オハラ様との共同プロジェクト。両社の有志メンバーでプロジェクトチームを組成し、協同で相模原・県央地区の子育て環境整備に資する活動を立案、実行していきます



こども・教育
SC相模原みらい塾

地元で育つ中高生対象の論理的かつ自律的な思考を養うワークショッププログラム
将来、自らの頭で考えリーダーシップを発揮しながら、未来を切り拓き、地元企業の進化や成長を牽引する人材の育成を目指します



こども・教育
こどもフリーパス

ホームタウンの子どもたちが、地元のプロサッカー選手や試合に触れることで夢や感動を得られる機会を提供する取り組みとして、「こどもフリーパス」の発行・運用を行っております



こども・教育
ゆめサポート教室

子どもたちに夢を持つことの大切さを選手が自らの言葉で伝えます。子供たちはきらきらした目で質問を投げかけ、選手も学生時代を思い出しながら真剣に受け答えています



環境保全
フードドライブ
supported by ギオン

トップパートナーである総合物流企業の「ギオン」様、地元相模原のNPO法人「フードコミュニティ」様と、食品ロス問題の解消に向けた取組みや、子育て世帯や生活困窮世帯への食を通じた支援等を行います



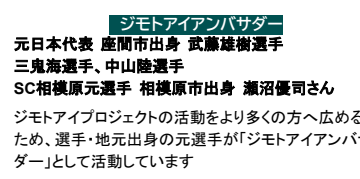
環境保全
森をつなぐアクション
with アイダエンジニアリング

2024年5月 相模原市と「さがみはら津久井産材の利用拡大に係る連携協定」を締結。環境保全のための正しい知識を持ち、アクションしていくための啓発活動や体験イベントを行います



ウェルビーイング
スポーツボランティアプログラム
「ENGIN」

社会の希薄化、世帯の孤立、若者のひきこもり等の社会課題を解決するため、試合日の運営や試合日以外の活動を通し、人との繋がりが地域とのかかわりを深める取組みを行っております



ジモアイアンバサダー
元日本代表 座間市出身 武藤雄樹選手
三鬼海選手、中山陸選手
SC相模原元選手 相模原市出身 瀬沼優司さん
ジモアイプロジェクトの活動をより多くの方へ広めるため、選手・地元出身の元選手が「ジモアイアンバサダー」として活動しています



MONTHLY REPORTS

2026.6

ウェルビーイング スポーツボランティアプログラム「ENGINE」

■相模川クリーン作戦

6月7日(日)、相模原市の高田橋で行われた、令和8年度第1回 相模川クリーン作戦にクラブスタッフと瀬沼アンバサダー、サポーターのサガミスタで参加しました。

相模川クリーン作戦は、相模川の複数個所で同日に清掃活動を実施する作戦で、総参加者は千人を超える活動です。

皆で相模川の豊かな自然を守ることができました！

2026年よりスタートしたスポーツボランティアプログラム「ENGINE」は、「ジモトの”円陣”を 未来への”エンジン”に」を合言葉に、「人々と企業とSC相模原による”円陣”が、コミュニティを、人の繋がりを、生きがいをつくりだす”エンジン”となることを目指します。」



環境保全 森をつなぐアクション with アイダエンジニアリング

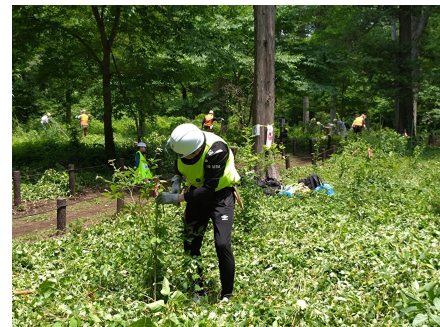


■「県民参加の森づくり」木もれびの森 森林整備活動

6月13日(土)に、「森をつなぐアクション with アイダエンジニアリング」の活動の一環として、南区大野台の「木もれびの森」にて実施された「県民参加の森づくり(森林整備活動)主催：かながわトラストみどり財団」に、株式会社カナコー様、瀬沼優司ジモトアイアンバサダー、SC相模原ボランティアスタッフ・フロントスタッフによる協働で参加しました。

木の苗が雑草やツタに絡まっていると生育の妨げになります。苗が雑草よりも高く伸びるまでは、人による手入れが必要です。

今回は 2年前に植樹した木の苗がまだまだ細く低く、雑草やツタが絡まってしまっているため、それら下草を刈る作業を行いました。



こども/教育 職場体験

■トップチーム練習サポート

6月4日(木)、トップチームの練習に東海大学付属相模中等部の生徒3名が、職場体験に來られました。チームのマネージャーやコーチの行なっている業務を実際に体験しました。3名ともサッカー部やサッカークラブに所属しており、選手たちの練習を間近で観ることができ良い経験になったと話していました。練習後は選手スタッフと集合写真も撮影しました。



こども/教育 ゆめサポート教室／職業講話

■相模原市立谷口小学校

6月17日(水)、相模原市立谷口小学校にて「ゆめサポート教室」を実施いたしました。当日はスタッフ1名が訪問し、SC相模原の歴史や夢を持つことの大切さ、また失敗を乗り越えた経験談などを講話いたしました。ワークシートを用いて生徒一人ひとりに自身の夢を書いてもらい、それを自らの言葉で発表する時間を設けるなど、生徒の皆さまと非常に有意義なひとときを過ごすことができました。



環境保全 フードドライブ & 森をつなぐアクション



■相模大野ステーションスクエア環境に配慮したイベント

6月20日(土)・21日(日)、相模大野ステーションスクエアの南北自由通路にて、「フードドライブ」と「森をつなぐアクション」のブース出展を行いました。

20日(土)は綿引康選手と瀬沼ジモトアイアンバサダー、21日(日)は瀬沼ジモトアイアンバサダーが参加しました。フードドライブのブースには2日間で計60組以上の地域住民やサポーターの方々にご来場いただき、多くの食材をご寄贈いただきました。また「つくいの木のものづくりコーナー」では、約30名の方にワークショップを体験していただき、大人から子どもまで多くの方につくいの木と触れ合っていました。今後もスタジアムでの取り組みを継続しながら、ホームゲーム以外での地域活動も積極的に推進してまいります。



その他 ホームタウン活動

■相模福祉村主催 第33回 おらが村文化祭

地域最大級の福祉団体・相模福祉村の文化祭にSC相模原の広報担当「ガミティ」が参加。開会挨拶やじゃんけん大会を通じ、スタジアム来場が難しい方々とも笑顔で触れ合いました。スタッフ全員がコラボTシャツを着用し、会場には強い一体感が醸成。理念である「おらが村の文化に」を体現する温かいもてなしに刺激を受けました。今後はウェルビーイング分野での連携を深めていきます。



こども/教育 ゆめサポート教室／職業講話

■相模原市立若草中学校

6月26日（金）、相模原市立若草中学校にて「職業講話」を実施いたしました。フロントスタッフ2名で訪問し、前半の講話はプロサッカークラブの仕組みや、具体的な仕事内容についてお話しさせていただき、後半のワークショップでは「クラブを盛り上げるためのアイデア」を時間を設けました。多くのアイデアが飛び交い、クラブへの理解を深めて、有意義な時間を共有することができました。



その他 ホームタウン活動

■相模原市ホームタウンチーム運動会

6月28日(日)相模原ギオンアリーナで初開催された「相模原市ホームタウンチーム運動会」に、杉本蓮選手と山内琳太郎選手、ガミティ、そしてフロントスタッフが参加しました。同じくホームタウンチームである三菱重工相模原ダイナボアーズ、ノジマステラ神奈川相模原、ノジマ相模原ライズ、ほねごり相模原の選手たちと各競技へ参加し、総勢500名の参加者様とスポーツを通じて交流を深めました。



その他 ホームタウン活動

■さがみはら環境まつり

6月28日(日)ユニコムプラザさがみはら・ポーノ広場で開催された、「第22回さがみはら環境まつり」に、ガミティが参加しました。ガミティは開会式の参加や、出展しているブースの紹介を学生MCとともにに行いました。出展ブースは、環境のために取り組む団体や行政ブースが多く並び、家族連れの方々が多く来場していました。



APPENDIX

行政、企業、地域の団体等と連携を行い、サステナブルにプロジェクトを推進



株式会社ギオン、NPO法人フードコミュニティ、SC相模原3社によるフードロス削減、こども食堂支援に関する協定締結



相模原市、SC相模原による「さがみはら津久井産材の利用拡大に係る連携協定」を締結



株式会社オハラ、学校法人和泉短期大学、SC相模原の3社によるスタジアム託児室に関する合意書の締結

トップパートナー



ゴールドサポーター



グリーンサポーター

株式会社アキュアリンク

岩井機械工業株式会社

石田木材株式会社

有限会社ケミカル電子

相模原市農業協同組合

株式会社横浜シミズ

テック・ソリューション株式会社

東邦電子株式会社

株式会社プラス・ワン

ブックオフグループホールディングス株式会社

株式会社ホンダカーズ神奈川西

株式会社ほねごり

株式会社 山路フードシステム

油研工業株式会社

YM交通株式会社

ENERGY FOOTBALL



SPORTS CLUB ★ ★ ★ ★ ★
S.C.SAGAMIHARA